

LA7245- モノリシックリニア集積回路 2チャンネルミュート回路

用途 ・ LA7245は VTR, 音響製品の電源ON-OFF時, ファンクションスイッチ切り換え時等に発生するポップ音などをミュートिंगすることを目的としたICである。

- 特長 ・ 動作電源電圧範囲が広い (4~13V)。
・ 3つのコントロール端子。
・ ミュート端子の許容信号レベルは9Vp-p。

最大定格/ $T_a=25^\circ\text{C}$

最大電源電圧	$V_{CC\text{ max}}$	15	V
許容消費電力	$P_{d\text{ max}}$ $T_a \leq 75^\circ\text{C}$	400	mW
動作周囲温度	T_{opg}	-20~+75	$^\circ\text{C}$
保存周囲温度	T_{stg}	-40~+125	$^\circ\text{C}$

動作条件/ $T_a=25^\circ\text{C}$

推奨電源電圧	V_{CC}	5	V
動作電源電圧範囲	$V_{CC\text{ op}}$	4~13	V

電気的特性/ $T_a=25^\circ\text{C}, V_{CC}=5V$

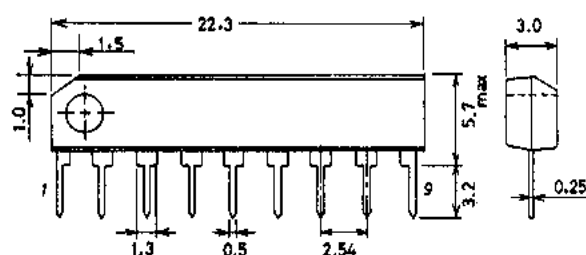
			min	typ	max	unit
消費電流 1	I_{CC1}	2, 7, 8ピン=0V	6.5	9.5	13.0	mA
消費電流 2	I_{CC2}	2, 7ピン=0V, 8ピン= V_{CC}	1.3	1.9	2.6	mA
制御端子 スレッシュホールド電圧	V_{TH}		1.5	2.0	2.5	V
ミュート量	ATT	$R_g=10k\Omega, V_{IN}=1V_{p-p}, f=1kHz$	68	75		dB
復帰遅延時間	T	$C_1=C_2=3.3\mu F$	0.55	0.8	1.1	sec
許容信号レベル	$V_{IN\text{ max}}$		9			Vp-p

この資料の適用回路および回路定数は一例を示すもので、参照セットとしての設計を保証するものではありません。

またこの資料は正確かつ信頼すべきものであると確信しておりますが、その使用にあたっては3番の工業所有権その他の権利の実施に対する保証を行なうものではありません。

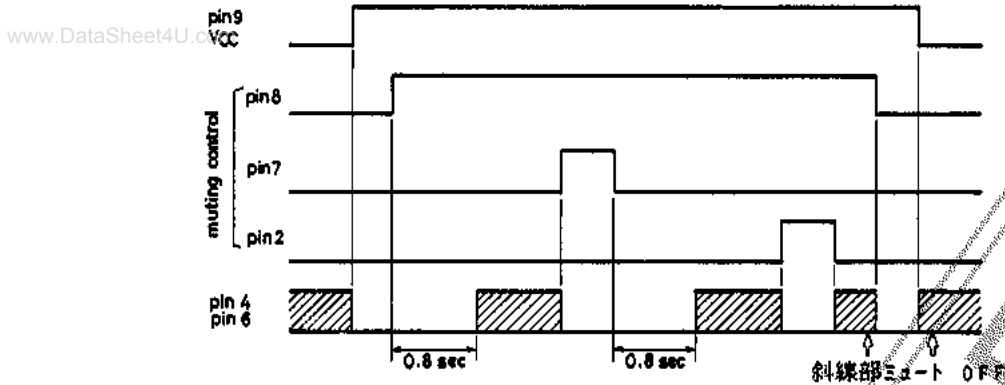
The application circuit diagrams and circuit constants herein are included as an example and provide no guarantee for designing equipment to be mass-produced. The information herein is believed to be accurate and reliable. However, no responsibility is assumed by SANYO for its use; nor for any infringements of patents or other rights of third parties which may result from its use.

外形図 3017B-S9IC
(unit: mm)



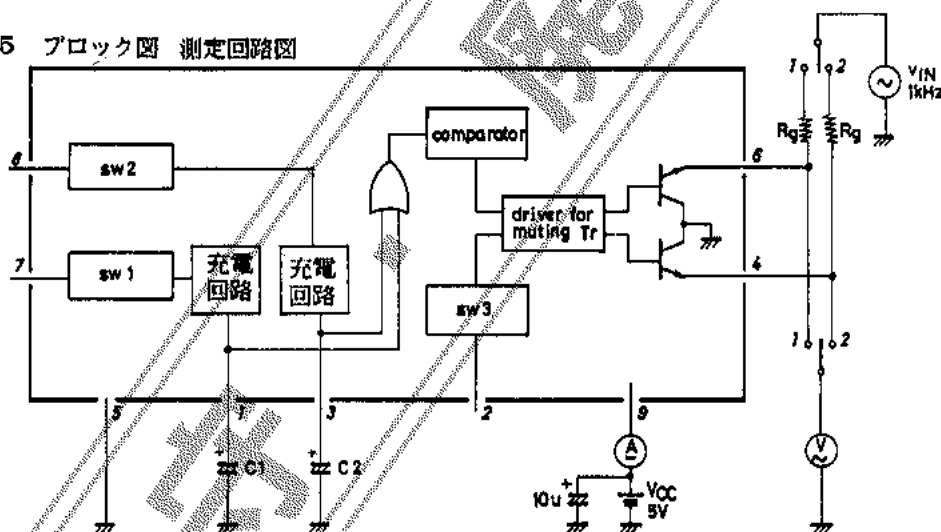
SANYO: SEP9

*これらの仕様は、改良などのため変更することがあります。

ミュート動作タイミング ($C1 = C2 = 3.3 \mu F$)

- V_{CC} をONすると IC内部のミュートングTrがONし ミュートングがかかる。
- 端子⑥の電圧が 2.0V(標準)以上になった時より 0.8sec($C1=C2=3.3\mu F$ における標準)後にミュートングは解除される。
- 端子⑦の電圧が 2.0V(標準)以上になると ミュートングがかかり 2.0V(標準)より電圧下がると 0.8sec($C1=C2=3.3\mu F$ における標準)後にミュートングは解除される。
- 端子⑥,⑦のミュートング復帰遅延時間は 共に $C1, C2$ の放電時間によって決定されるので $C1, C2$ の容量に比例して変化する。
- 端子②の電圧が 2.0V(標準)以上になると ミュートングがかかり 2.0V(標準)より下がるとミュートングは解除される。

LA7245 ブロック図 測定回路図



LA7245 インターフェイス回路図

